

西暦表記とする。

2020 年 月 日

倫理審査申請書に入力した研究タイトルを記入する。

研究説明書〔研究参加者〕

「特別支援教育の実習指導に関する一考察－実習生のグループ・インタビューを通して－」を次のとおり実施いたします。研究の目的や実施内容等をご理解いただき、本研究にご参加いただける場合は、別紙の「研究参加への同意書」にご署名をお願いいたします。なお、研究に参加されない場合、あるいは参加を決めた後に途中で辞退される場合においても、不利益を被ることはありません。

1. 研究者および指導教員（共同研究の場合は実施責任者）の氏名および連絡先

- 研究者（実施責任者）が院生・研究生の場合、武庫川女子大学の住所や電話番号の使用不可
- 個人の連絡先は慎重に検討すること
- 指導教員の氏名、所属機関、連絡先は、必ず記載すること

所属機関
連絡先

武庫川女子大学 大学院臨床教育学研究科・修士課程
氏名：XXXX XXXX X-X-X
E-mail: xxxxxx@mukogawa-u.ac.jp
電話番号：(XXX)XXXX-XXXX

宮浜子
武庫川女子大学 教育総合研究所 教授
住所：兵庫県西宮市池開町 6 - 46
Email: yyyyyy@mukogawa-u.ac.jp
電話番号：(0798)Y

本研究の目的および調査の種類（例：個別インタビュー調査、質問紙調査、観察調査など）と本研究の意義を、わかりやすく説明する。

2. 研究の目的・意義

本研究は、特別支援学校教員を目指す学生の教育実習における学びの実態を明らかにすることを目的として、グループ・インタビュー調査を実施いたします。本研究の意義としては、特別支援学校での実習における喜びや難しさを感じた体験をあなたのことばで話してもらうことで、これからの実習指導に活かすことができると考えます。

例はグループ・インタビューの場合を示している。各自の研究内容に応じて、わかりやすいことばで研究方法を説明する。

3. 研究方法および研究期間

本研究では、最大で 5 名が参加するグループ・インタビューを行います。インタビュー内容は IC レコーダーで録音し、逐語録を作成して分析する予定です。

インタビューは 1 回（60 分～120 分程度）を予定しております。分析をするなかで改めてお話をお伺いしたいことが出てきた場合には、追加インタビューをお願いすることがあります。研究期間は、2018 年 5 月 1 日～2019 年 3 月 31 日を予定しております。

調査対象者に選ばれた理由を、わかりやすく説明する。

4. 調査対象者として選定された理由

本研究では、特別支援学校での実習を終えて 6 か月以内の武庫川女子大学に在籍する大学生を対象とさせていただきます。その理由は、特別支援学校での実習体

験を既にお持ちであり、またこれまでの実習に関連した授業や指導内容についても、学生の立場で振り返ることが出来る方と判断したからです。

5. 研究への参加と撤回について

研究の趣旨をご理解いただきご参加いただければと思いますが、参加するかどうかはご自身でお決めください。研究の説明を聞いてから、お断りいただくこともできます。また参加途中で辞退されることになっても、何ら不利益を被ることはありません。参加途中で辞退される場合は、それまでに収集したデータを分析対象としてよいのか廃棄を希望されるのかをお聞かせいただければ、それに従って取り扱います。

なお研究参加への同意を撤回される場合は、「研究参加への同意撤回書」を記入の上、武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科・修士課程・武庫川一郎にお渡しいただくか、下記の倫理委員会まで送付してください。

6. 研究に参加することにより期待される利益

本研究に参加していただくことにより、直接的にあなたの利益となることはありませんが、特別支援学校での実習における実習生の学びと困難を明らかにすることによって、特別支援教員養成課程における実習の事前と事後指導の在り方に関する理解が進み、学術論文として公表することを通して社会に貢献・還元することを期待しています。また、あなた自身の実習に関する振り返りによって、自己理解につながる

調査に参加してもらうことによって期待される利益を、わかりやすく説明する。

7. 予測されるリスク、心身に対する不快な状態や影響

研究への参加により、身体的な危険が伴うことはありませんが、インタビューを進めるなかで、実習でのつらい経験を思い出されることがあるかもしれません。話すことがつらい場合、話したくないことが質問された場合には、無理にお話しただけで結構ですし、お申し出により、いつでもインタビューを中断いたします。

調査に参加することにより予測されるリスク（例：フラッシュバックや予期せぬ怪我といった心身に対する不快な状態や影響など）を、すべて説明する。

8. 研究成果の公表の可能性

研究の成果は、修士論文としてまとめるとともに、日本特殊教育学会及びアメリカ障害学会にて発表を行なう予定です。論文や発表では、名前や実習先情報等により個人が特定できない表記にいたします。

また、ご希望があれば逐語録や論文要旨等の資料をお送りいたしますので、遠慮なくお知らせください。

研究成果の公表を行う媒体や場所を記入する。学会等で発表する場合、倫理審査申請書の 4-2-3 研究成果物（論文や発表）における注意点を反映し説明する。

収集したデータの取扱いは、以下の例を参考に記載する。

- 回答済のアンケート用紙は本研究終了と同時に破棄するが、数値化し電子化されたデータは本研究終了から 10 年間保管する
- 録音データや逐語録などの電子化されたデータは、本研究終了から 10 年間保管する など

9. 守秘や個人情報の保護、研究データの取扱いについて

本研究にてお話しいただいた内容や逐語録等を研究目的以外に用いることはなく、情報の守秘を固くお約束いたします。公的良俗に反する内容や警告義務が発生するような情報に関しては、研究者による守秘義務は必ずしも絶対ではありませんので、予めご承知おきください。個人情報保護のため、IC レコーダーの録音データは、研究者が所有する鍵のかかる棚にて厳重に保管します。また録音データから直接起こした逐語録から、個人のお名前を削除し、符号に置き換えるなどして分析用の逐語録を作成し、分析に用います。本研究で得られた録音データと直接起こした逐語録、研究資料等は研究目的以外に用いることはなく、情報の守秘を固くお約束いたします。研究データや研究資料等は武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科内の特定保管場所にて厳重に保管し、研究終了から 10 年後に破棄いたします。

保管場所を記入する。

10. その他必要事項について

本研究への参加と、あなたが行った特別支援教育実習の評価、さらに現在履修中の他の科目の成績とは全く関係ありません。あなたが本研究に参加したことは、実習先並びに本学の実習指導担当教員等を含むあなたの実習に関与した人々には通知されません。またインタビューにおいて、他の参加者から聞いた話についてはあなたにも守秘が義務づけられますので、インタビュー終了後に他言をなさらないようにお願いします。

11. 研究内容に疑義がある時の連絡先

この研究の内容や方法、研究者の対応等について疑義が生じた場合には、以下に連絡していただき、疑義についての確認をとっていただくことができます。

武庫川女子大学教育総合研究所 倫理委員会
〒663-8558 西宮市池開町 6-46
Email : rinkyo@mukogawa-u.ac.jp

その他に調査協力者に知らせておく必要がある事項について、簡潔に説明する（例：本研究への参加と成績評価は全くの無関係など）。ない場合は、「特になし」と記入する。

以上